

〔平成15年度設置〕

佐賀大学文化教育学部・経済学部・医学部・理工学部
設置に係る年次計画履行状況報告書

国立大学法人佐賀大学
平成18年5月1日現在

作成担当者

総合企画監 西山 晋

総合企画監付企画係

係長 寺田 龍一

電話番号 0952-28-8813

(夜間) 0952-28-8813

F A X 0952-28-8118

目 次

1. 調査対象大学等の概要	1
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況	37
4. 既設大学等の状況	38
5. 学部・学科別教員組織の状況	39
6. 留意事項に対する履行状況等	52
7. 全般的事項	53

大学等設置に係る年次計画履行状況報告書

1 調査対象大学等の概要等

区 分	内 容		備 考	
(1) 設 置 者	国立大学法人佐賀大学			
(2) 大 学 の 名 称	国立大学佐賀大学			
(3) 大学本部の位置	佐賀県佐賀市本庄町1番地			
(4) 管理運営組織		認 可 時	変 更 状 況	
	職 名	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月日)	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月日)	
	学 長	(ナカワ アキラ) 長谷川 照 (平成15年10月1日)		
	文化教育学 部長	(ツブ ケンジ) 辻 健児 (平成15年10月1日)	(ツボ トモユキ) 撫尾 知信 (平成18年4月1日)	任期満了による変更⑩
	経済学部長	(コガ カズフミ) 古賀 和文 (平成15年10月1日)	(ノトミ イロウ) 納富 一郎 (平成16年4月1日)	任期満了による変更⑩
	医学部長	(ムカイ ツネヒロ) 向井 常博 (平成15年10月1日)	(キモト マサオ) 木本 雅夫 (平成17年10月1日)	任期満了による変更⑩
	医学科長	(マシ サトヒコ) 増子 貞彦 (平成15年10月1日)	(ツジモ カズマ) 藤本 一真 (平成16年4月1日)	任期満了による変更⑩
	看護学科長	(イノウエ ノリエ) 井上 範江 (平成15年10月1日)		
	理工学部長	(ニシガハ サカカ) 西河 貞捷 (平成15年10月1日)	(ナカヅマ アキラ) 中島 晃 (平成17年10月1日)	任期満了による変更⑩
	数理科学 科長	(ナカハラ トオル) 中原 徹 (平成15年10月1日)	(イチガハ シノブ) 市川 尚志 (平成18年4月1日)	任期満了による変更⑩
	物理科学 科長	(クマノ シュンゾウ) 熊野 俊三 (平成15年10月1日)	(タニイ ユウキョウ) 鄭 旭光 (平成18年4月1日)	任期満了による変更⑩
	知能情報以 上学科長	(ウエハラ ユウジ) 上原 健 (平成15年10月1日)	(ヤマシタ ユウキ)	任期満了による変更⑩
	機能物質 化学科長	(オオイ ユウジ) 大石 祐司 (平成15年10月1日)	(キタムラ ツネオ) 北村 二雄 (平成18年4月1日)	任期満了による変更⑩
	機械以 上学科長	(カネコ ケンジ) 金子 賢二 (平成15年10月1日)	(オノ ノブヨシ) 大野 信義 (平成18年4月1日)	任期満了による変更⑩
電気電子 工学科長	(フジタ ヒロユキ) 藤田 寛治 (平成15年10月1日)	(ニシオ ミツヒロ) 西尾 光弘 (平成18年4月1日)	任期満了による変更⑩	
都市工 学科長	(ニハ カズヒコ) 丹羽 和彦 (平成15年10月1日)	(オニカ カツタ) 鬼塚 克忠 (平成18年4月1日)	任期満了による変更⑩	

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学状況等

調査対象 学部等の名称 (学位)	認可時の計画				入学状況等							
	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	区 分	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平均 入学定員 超過率
文化教育学部 学校教育課程 学士(学校教育)	4	90	—	360	A 入学定員	90	90	90				1.13 倍
					志願者数	571	546	401				
					受験者数	393	408	280				
					合格者数	114	112	108				
					B 入学者数	106	104	98				
					入学定員 超過率 B/A	1.17	1.15	1.08				
					在学者数	1年次 106[2]	1年次 104[1] 2年次 107[2]	1年次 98[0] 2年次 104[0] 3年次 106[2]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 []			
	計 106[2]	計 211[3]	計 308[2]	計 []								
文化教育学部 国際文化課程 学士(国際文化)	4	60	—	240	A 入学定員	60	60	60				1.09 倍
					志願者数	265	268	240				
					受験者数	210	206	192				
					合格者数	81	75	82				
					B 入学者数	69	61	67				
					入学定員 超過率 B/A	1.15	1.01	1.11				
					在学者数	1年次 69[1]	1年次 61[1] 2年次 69[1]	1年次 67[0] 2年次 61[1] 3年次 75[1]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 []			
	計 69[1]	計 130[2]	計 203[2]	計 []								
文化教育学部 人間環境課程 学士(人間環境, 健康福祉, スポーツ)	4	60	—	240	A 入学定員	60	60	60				1.10 倍
					志願者数	317	242	179				
					受験者数	206	175	124				
					合格者数	79	73	74				
					B 入学者数	64	66	70				
					入学定員 超過率 B/A	1.06	1.10	1.16				
					在学者数	1年次 64[1]	1年次 67[0] 2年次 62[1]	1年次 70[0] 2年次 66[0]	1年次 [] 2年次 []			

								3年次 70[1]	3年次 4年次 [計]			
						計 64[1]	計 129[1]	計 206[1]	[計]			
文化教育学部 美術・工芸課程 学士(美術・工芸)	4年	30人	1年次 —	120人	A入学定員	30人	30人	30人	人			1.04 倍
					志願者数	158	118	132				
					受験者数	110	96	99				
					合格者数	32	32	32				
					B入学者数	31	31	32				
					入学定員 超過率 B/A	1.03	1.03	1.06				
					在学者数	1年次 31[0]	1年次 31[0] 2年次 31[0]	1年次 32[0] 2年次 31[0] 3年次 34[0]	1年次 [計] 2年次 3年次 4年次 [計]			
	計 31[0]	計 62[0]	計 97[0]	[計]								
文化教育学部 編入学 (学部共通)	2年	—人	3年次 20人	40人	A入学定員	人	人	(20)人	人			0.95 倍
					志願者数	(—)	(—)	(87)				
					受験者数	(—)	(—)	(85)				
					合格者数	(—)	(—)	(23)				
					B入学者数	(—)	(—)	(19)				
					入学定員 超過率 B/A	(—)	(—)	0.95				
経済学部 経済学A課程 学士(経済学)	4年	140人	1年次 —	560人	A入学定員	140人	140人	140人	人			1.12 倍
					志願者数	691	735	624				
					受験者数	440	504	414				
					合格者数	197	197	213				
					B入学者数	163	157	154				
					入学定員 超過率 B/A	1.16	1.12	1.10				
					在学者数	1年次 163[2]	1年次 157[2] 2年次 161[2]	1年次 154[0] 2年次 156[2] 3年次 160[2]	1年次 [計] 2年次 3年次 4年次 [計]			
	計 163[2]	計 318[4]	計 470[4]	[計]								
経済学部 経営・法律課程 学士(経済学)	4年	135人	1年次 —	540人	A入学定員	135人	135人	135人	人			1.13 倍
					志願者数	554	615	536				

					受験者数	371	407	334					
					合格者数	193	195	209					
					B 入学者数	155	153	152					
					入学定員 超過率 B/A	1.14	1.13	1.12					
					在学者数	1年次 155[7] 計 155 [7]	1年次 153[7] 2年次 156[7] 計 309 [14]	1年次 152[4] 2年次 152[7] 3年次 152[7] 計 456 [18]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 [] 計 []				
医学部 医学科 学士(医学)	年 6	人 95	年次 人 一	人 570	A 入学定員	人 95	人 95	人 95	人 人	人 人	人 人	1.00 倍	
					志願者数	710	649	546					
					受験者数	464	466	472					
					合格者数	95	96	96					
					B 入学者数	95	95	95					
					入学定員 超過率 B/A	1.00	1.00	1.00					
					在学者数	1年次 95[0] 計 95[0]	1年次 96[0] 2年次 99[0] 計 195[0]	1年次 96[0] 2年次 105[0] 3年次 89[0] 計 290[0]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 [] 計 []	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 [] 5年次 [] 計 []	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 [] 5年次 [] 6年次 [] 計 []		
医学部 看護学科 学士(看護学)	年 4	人 60	年次 人 3年次 10人	人 260	A 入学定員	人 60	人 60	人 (10) 60	人 ()			(0.90) 1.02 倍	
					志願者数	290	212	(47) 254	()				
					受験者数	196	164	(39) 196	()				
					合格者数	71	65	(11) 64	()				
					B 入学者数	60	62	(9) 62	()				
					入学定員 超過率 B/A	1.00	1.03	(0.90) 1.03	()				
					在学者数	1年次 60[0] 計 60[0]	1年次 62[0] 2年次 61[0] 計 123[0]	1年次 62[0] 2年次 66[0] 3年次 70[0] 計 198[0]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 [] 計 []				
理工学部	年 4	人 30	年次 人 一	人 120	A 入学定員	人 30	人 30	人 30	人 人			1.43 倍	

数理科学科 学士(理学)					志願者数	205	120	98							
					受験者数	183	112	73							
					合格者数	51	48	40							
					B 入学者数	45	47	37							
					入学定員 超過率 B/A	1.50	1.56	1.23							
					在学者数	1年次 45[0]	1年次 47[1] 2年次 45[0]	1年次 37[1] 2年次 47[1] 3年次 46[0]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 []						
	計	計	計	計											
					45[0]	92[1]	130[2]	[]							
理工学部 物理科学科 学士(理学)	4	年	人	年次 人	人	A 入学定員	40	40	40	人					1.17 倍
						志願者数	119	67	173						
						受験者数	89	61	119						
						合格者数	63	58	57						
						B 入学者数	48	48	45						
						入学定員 超過率 B/A	1.20	1.20	1.12						
在学者数	1年次 48[0]	1年次 48[0] 2年次 48[0]	1年次 45[0] 2年次 48[0] 3年次 48[0]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 []											
	計	計	計	計											
					48[0]	96[0]	141[0]	[]							
理工学部 情報理工学科 学士(理学)	4	年	人	年次 人	人	A 入学定員	60	60	60	人					1.05 倍
						志願者数	283	246	248						
						受験者数	241	216	176						
						合格者数	74	76	75						
						B 入学者数	65	63	62						
						入学定員 超過率 B/A	1.08	1.05	1.03						
在学者数	1年次 65[1]	1年次 63[0] 2年次 65[1]	1年次 62[2] 2年次 62[0] 3年次 68[1]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 []											
	計	計	計	計											
					65[1]	128[1]	192[3]	[]							
理工学部 機能物質化学科 学士(理学, 工学)	4	年	人	年次 人	人	A 入学定員	90	90	90	人					1.08 倍
						志願者数	342	377	251						
						受験者数	306	309	187						

					合格者数	126	121	121					
					B 入学者数	105	95	94					
					入学定員 超過率 B/A	1.16	1.05	1.04					
					在学者数	1年次 105[2]	1年次 95[1] 2年次 105[2]	1年次 94[1] 2年次 93[0] 3年次 103[0]	[1年次 2年次 3年次 4年次 計]				
						計 105[2]	計 200[3]	計 290[1]	[計]				
理工学部 機械システム工学科 学士(工学)	4	年 90	人 —	年次 —	人 360	A 入学定員	90	90	90				1.12 倍
						志願者数	401	404	270				
						受験者数	340	350	222				
						合格者数	115	121	115				
						B 入学者数	92	108	103				
						入学定員 超過率 B/A	1.02	1.20	1.14				
						在学者数	1年次 92[2]	1年次 108[7] 2年次 92[2]	1年次 103[2] 2年次 108[7] 3年次 95[3]	[1年次 2年次 3年次 4年次 計]			
					計 92[2]	計 200[9]	計 306[12]	[計]					
理工学部 電気電子工学科 学士(工学)	4	年 90	人 —	年次 —	人 360	A 入学定員	90	90	90				1.08 倍
						志願者数	364	425	261				
						受験者数	312	377	225				
						合格者数	114	119	115				
						B 入学者数	96	98	99				
						入学定員 超過率 B/A	1.06	1.08	1.10				
						在学者数	1年次 96[3]	1年次 98[1] 2年次 95[3]	1年次 99[2] 2年次 98[1] 3年次 99[6]	[1年次 2年次 3年次 4年次 計]			
					計 96[3]	計 193[4]	計 286[9]	[計]					
理工学部 都市工学科 学士(工学)	4	年 90	人 —	年次 —	人 360	A 入学定員	90	90	90				1.03 倍
						志願者数	329	347	252				
						受験者数	281	315	200				
						合格者数	113	123	112				

					B 入学者数	93	96	92				
					入学定員 超過率 B/A	1.03	1.06	1.02				
					在学者数	1年次 93[2]	1年次 96[1] 2年次 92[2]	1年次 92[0] 2年次 95[0] 3年次 92[2]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 []			
						計 93 [2]	計 188 [3]	計 279 [2]	計 []			
理工学部 編入学 (学部共通)	年 2	人 一	年次 人 3年次 20	人 40	A 入学定員	人	人	人 (20)	人 ()			0.80 倍
					志願者数	(一)	(一)	(47)	()			
					受験者数	(一)	(一)	(42)	()			
					合格者数	(一)	(一)	(25)	()			
					B 入学者数	(一)	(一)	(16)	()			
					入学定員 超過率 B/A	(一)	(一)	0.80	()			

2 授業科目の概要

<全学部共通(教養教育科目)>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
1	432	—	433	1 [0]	542 [110]	— [—]	543 [110]	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{433} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程教育学選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
56	21	0	77	53 [△3]	21 [0]	0 [0]	74 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	図書館概説	2	3	選択	カリキュラムの見直し, 無
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

カリキュラムの見直し等により, 選択科目の一部を廃止としたが履修上の問題は生じていない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{1}{77} = 0.01$$

<文化教育学部学校教育課程教育心理学選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
59	16	0	75	56 [△3]	15 [△1]	0 [0]	71 [△4]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{75} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程障害児教育選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
56	19	0	75	53 [△3]	19 [0]	0 [0]	72 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{75} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程教科教育選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
55	67	0	122	52 [△3]	69 [2]	0 [0]	121 [△1]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{122} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程数学選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
58	57	0	115	55 [△3]	57 [0]	0 [0]	112 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{115} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程理科選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
69	34	0	103	66 [△3]	34 [0]	0 [0]	100 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	動物生態学	2	3	選択	専任教員未補充のため, 無
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

専任教員の未補充により, 一部を未開講としたが, 選択科目のため履修上の問題は生じていない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{1}{103} = 0.009$$

<文化教育学部学校教育課程音楽選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
60	51	0	111	61 [1]	37 [△14]	0 [0]	98 [△13]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	歌詞講読Ⅰ	2	1	選択	カリキュラムの見直し
2	歌詞講読Ⅱ	2	1	選択	〃
3	音楽心理学	2	1	選択	〃
4					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

カリキュラムの見直し等により, 選択科目の一部を廃止としたが履修上の問題は生じていない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{3}{111} = 0.02$$

<文化教育学部国際文化課程日本・アジア文化選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
94	43	0	137	98 [4]	46 [3]	0 [0]	144 [7]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{137} = 0$$

<文化教育学部国際文化課程欧米文化選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
63	164	0	227	66 [3]	158 [△6]	0 [0]	224 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	アメリカ文学Ⅰ	2	2	選択	専任教員未補充のため, 無
2	アメリカ文学Ⅱ	2	3	選択	〃
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	欧米の法と道徳Ⅰ	2	1	選択	カリキュラムの見直し
2	英語意味論	2	2	選択	〃
3	フランス語学	2	3	選択	〃
4	フランス語文法論	2	3	選択	〃
5	異文化理解演習AⅠ	2	3	選択	〃
6	異文化理解演習AⅡ	2	3	選択	〃
7	日独異文化理解演習	2	1	選択	〃

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

専任教員の未補充及びカリキュラムの見直し等により, 科目の一部を未開講または廃止としたが, 選択科目のため履修上の問題は生じていない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{9}{227} = 0.03$$

<文化教育学部人間環境課程生活・環境・技術選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	109	0	136	30 [3]	111 [2]	0 [0]	141 [5]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	衣生活科学概論	2	2	選択	専任教員未補充のため, 無
2	衣生活環境学	2	2	選択	〃
3	衣生活科学実験	2	3	選択	〃
4					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

専任教員の未補充により, 一部を未開講としたが, 選択科目のため履修上の問題は生じていない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{3}{136} = 0.02$$

<文化教育学部人間環境課程健康福祉・スポーツ選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
42	52	0	94	44 [2]	51 [△1]	0 [0]	95 [1]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{94} = 0$$

<文化教育学部美術・工芸課程>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
25	57	0	82	27 [2]	59 [2]	0 [0]	86 [4]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{82} = 0$$

<文化教育学部各課程共通>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
—	—	70	70	— [—]	— [—]	70 [0]	70 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{70} = 0$$

<経済学部経済システム課程国際経済社会コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
16	59	16	91	16 [0]	59 [0]	16 [0]	91 [0]	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{91} = 0$$

<経済学部経済システム課程総合政策コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
15	60	16	91	15 [0]	60 [0]	16 [0]	91 [0]	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{91} = 0$$

<経済学部経営・法律課程企業経営コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
15	67	16	98	15 [0]	62 [Δ5]	16 [0]	93 [Δ5]	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{98} = 0$$

<経済学部経営・法律課程法務管理コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
15	67	16	98	16 [1]	62 [Δ5]	16 [0]	94 [Δ4]	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{98} = 0$$

<医学部医学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
45	0	0	45	36 [△9]	4 [4]	0 [0]	40 [△5]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{45} = 0$$

<医学部看護学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
83	15	0	98	54 [△29]	29 [14]	0 [0]	83 [△15]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{98} = 0$$

<理工学部数理科学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
21	38	0	59	20 [△1]	29 [△9]	0 [0]	49 [△10]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{59} = 0$$

<理工学部物理科学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
18	20	0	38	22 [4]	18 [△2]	0 [0]	40 [2]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{38} = 0$$

<理工学部知能情報システム学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	30	0	57	32 [5]	22 [△8]	0 [0]	54 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{57} = 0$$

<理工学部機能物質化学科物質化学コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
19	54	0	73	21 [2]	60 [6]	0 [0]	81 [8]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	電気化学	2	2	選択	専任教員未補充のため, 無
2	固体材料解析工学	2	2	選択	専任教員未補充のため, 無
3	セラミックス科学	2	2	選択	専任教員未補充のため, 無
4	有機材料化学 I	2	3	選択	専任教員未補充のため, 無
5	高分子合成化学	2	2	選択	専任教員未補充のため, 無
6	機能物質化学特講 II	2	3	選択	専任教員未補充のため, 無

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

専任教員の未補充により, 科目の一部を未開講としたが, 選択科目のため履修上の問題は生じていない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{6}{73} = 0.08$$

<理工学部機能物質化学科機能材料化学コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
35	32	0	67	42 [7]	5 [△27]	0 [0]	47 [△20]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{67} = 0$$

<理工学部機械システム工学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
36	31	0	67	40 [4]	29 [△2]	1 [1]	70 [3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{67} = 0$$

<理工学部電気電子工学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
17	60	0	77	36 [19]	36 [△24]	1 [1]	73 [△4]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{77} = 0$$

<理工学部都市工学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
29	53	0	82	14 [△15]	58 [5]	1 [1]	73 [△9]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	計測物理	2	2	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
2	コンクリート構造工学Ⅲ	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
3	構造動力学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
4	地下構造学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
5	建設施工学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
6	建設地質学	2	1	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
7	道路工学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
8	地盤動力学	2	4	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
9	地盤基礎工学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
10	環境科学Ⅰ	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
11	水資源管理学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
12	河川水理学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
13	流体力学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
14	応用水理学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
15	環境工学セミナー	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
16	システム分析Ⅱ	2	2	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
17	社会福祉工学	2	2	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
18	都市地域情報学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
19	建設技術史	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
20	工業火薬学	2	3	選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止
21	環境システム工学特別講義	2		選択	コース制導入に伴いカリキュラムの見直しを図ったことによる廃止

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

カリキュラムの見直し等により, 選択科目の一部を廃止としたが履修上の問題は生じていない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{21}{82} = 0.25$$

3 施設・設備の整備状況, 経費

「設置計画の概要」に記載していない情報のため省略

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計			
	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計			
	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)			
(3) 講 義 室 教 室 等	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専 任 教 員 研 究 室	調査対象学部等の名称		室 数				
	〇〇学部 〇〇学科		室				
(5) 図 書 ・ 設 備							
調査対象学部 等の名称	図書 [外国書] 冊	学術雑誌 [外国書] 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
計	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
	m ²		席	冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
	m ²						
(3) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度
		教員1人当りの研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

4 既設大学等の状況

大学の名称	佐賀大学								備考
	既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	定員 超過率	学位又 は称号	開設 年度	
農学部 応用生物科学科	4	45	—	180	1.13	農学	18	佐賀市本庄町1番地	「平成18年4月1日、農学部の学科設置として、大学設置・学校法人審議会大学設置分科会運営委員会において届出の審査了承認」(教員組織については、別添(参考資料)を参照)
農学部 生物環境科学科	4	60	—	240	1.06	農学	18	佐賀市本庄町1番地	
農学部 生命機能科学科	4	40	—	160	1.10	農学	18	佐賀市本庄町1番地	
農学部 3年次編入学	2	—	3年次 10	20	—	農学	20	佐賀市本庄町1番地	

5 学部・学科別教員組織の状況

<文化教育学部>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認可時の計画					変更状況					備考
教授	助教授	講師	計	助手	教授	助教授	講師	計	助手	
68	39	12	119	0	68	39	12	119	0	
(72)	(45)	(4)	(121)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		H17.7.1昇任
2	教授		H17.7.1昇任
3	助教授		H17.9.1昇任
4	教授		H17.9.30退職
5	助教授		H17.9.30退職
6	教授		H18.3.31退職
7	助教授		H18.3.31退職
8	教授		H18.3.31定年退職
9	教授		H18.3.31定年退職
10	教授		H18.3.31定年退職
11	助教授		H18.3.31定年退職
12	教授		H18.4.1採用
13	教授		H18.4.1採用
14	助教授		H18.4.1採用
15	講師		H18.4.1採用
16	講師		H18.4.1採用

17	講師		H18.4.1採用
18	講師		H18.4.1採用
19	講師		H18.4.1採用
20	教授		H18.4.1昇任
21	教授		H18.4.1配置換（高等教育開発センターから）
22	教授		H18.4.1配置換（高等教育開発センターから）
23	教授		H18.4.1配置換（高等教育開発センターから）
24	教授		H18.4.1配置換（高等教育開発センターへ）
25	助教授		H18.4.1配置換（高等教育開発センターへ）

（４） 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<経済学部>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認可時の計画					変更状況					備考
教授	助教授	講師	計	助手	教授	助教授	講師	計	助手	
21	25	1	47	3	21	25	1	47	3	
(22)	(21)	(4)	(47)	(3)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		H18.3.31任期満了退職
2	助教授		H18.4.1採用
3	助教授		H18.4.1採用
4	助教授		H18.4.1採用
5	講師		H18.4.1採用
6	教授		H18.4.1昇任
7	助教授		H18.4.1昇任

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<医学部医学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
42	40	29	111	126	42	40	29	111	126	
(41)	(36)	(29)	(106)	(107)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	講師		H17.5.31退職
2	講師		H17.6.30退職
3	助教授		H17.8.1昇任
4	助教授		H17.8.1昇任
5	助教授		H17.8.1配置換（附属病院から）
6	教授		H17.9.1採用
7	教授		H17.9.30退職
8	講師		H17.9.30退職
9	講師		H17.10.1昇任
10	講師		H17.10.1昇任
11	教授		H17.10.2採用
12	講師		H17.10.31退職
13	教授		H17.11.1昇任
14	助教授		H18.1.1昇任
15	講師		H18.1.1昇任
16	助教授		H18.2.1採用
17	助教授		H18.2.1昇任

18	講師		H18.2.1昇任
19	講師		H18.3.1昇任
20	助教授		H18.3.16採用
21	教授		H18.3.31定年退職
22	助教授		H18.3.31定年退職
23	助教授		H18.3.31退職
24	助教授		H18.3.31退職
25	講師		H18.3.31退職
26	助教授		H18.4.1採用
27	講師		H18.4.1採用
28	講師		H18.5.1昇任

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<医学部看護学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認可時の計画					変更状況					備考
教授	助教授	講師	計	助手	教授	助教授	講師	計	助手	
6	7	5	18	11	6	7	5	18	11	
(7)	(5)	(4)	(16)	(11)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		H18.4.12退職

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<理工学部数理科学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
7	3	1	11	0	7	3	1	11	0	
(8)	(5)	(1)	(14)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	教授		H17.11.1昇任
2	教授		H18.3.31定年退職
3	助教授		H18.3.31退職
4			

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<理工学部物理科学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
7	5	3	15	0	7	5	3	15	0	
(8)	(6)	(1)	(15)	(1)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	教授		H18.3.31定年退職
2	講師		H18.4.1採用

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<理工学部知能情報システム学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
6	4	1	11	4	6	4	1	11	4	
(6)	(6)	(2)	(14)	(4)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	教授		H18.3.31定年退職
2	教授		H18.4.1昇任

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<理工学部機能物質化学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
11	13	0	24	7	11	13	0	24	7	
(14)	(11)	(0)	(25)	(5)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	教授		H17.9.30退職
2	助教授		H18.4.1採用

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<理工学部機械システム工学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
9	6	2	17	5	9	6	2	17	5	
(9)	(9)	(2)	(20)	(4)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	教授		H17.12.1昇任
2	教授		H18.4.1昇任
3	教授		H18.4.1配置換（海洋エネルギー研究センターへ）
4	教授		H18.4.1配置換（海洋エネルギー研究センターへ）
5			

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<理工学部電気電子工学科>

(1) 担当教員表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
5	8	3	16	2	5	8	3	16	2	
(7)	(9)	(3)	(19)	(5)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任 (就 任 辞 退 を 含 む) 等 の 理 由
1			
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

--

<理工学部都市工学科>

(1) 担当教員表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
10	8	1	19	4	10	8	1	19	4	
(10)	(5)	(3)	(18)	(2)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任 (就 任 辞 退 を 含 む) 等 の 理 由
1	助教授		H17.10.1昇任
2	助教授		H17.10.1配置換 (低平地研究センターから)
3			

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
認 可 時 (H15年10月1日)	特になし		
年次計画履行状況 調 査 時 (年 月 日)	特になし		

7 その他全般的事項

<佐賀大学>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変 更 内 容 ・ 状 況 ， 今 後 の 見 通 し な ど
特になし	特になし

自己点検・評価等に関する事項

A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

B 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成20年度 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行
- ・ホームページ上に公開予定

認証評価を受ける計画

・平成20年度に大学評価・学位授与機構の評価を受けることを役員会で決定した。

〈別紙〉

本学は、旧佐賀大学と佐賀医科大学との統合により平成15年10月に新しく発足し、統合前の佐賀大学及び佐賀医科大学が取り組んできた教育、研究、地域・社会貢献、国際貢献の諸活動（4つの使命）を継承するとともに、統合によって生まれる新たな「知の創造」を追究することを目標としている。

新生佐賀大学においては、その目標を達成するため、統合のメリットを活かしながら、学生と社会の要請に応える教育と研究を着実に展開している。

1. 教育機能の強化

(1) 教養教育の充実

教養教育においては、統合前より実施してきた全学部の教員が教養教育を担うシステムを継承し、これに加え、①健康、人間、生命科学分野などの授業科目の増設、②地域に基盤を置く大学としての特色を踏まえ、地域を学び考える「地域と文明」を新たな共通主題科目として創設（平成16年度）、③各学部（医学部を含む）が開講する専門授業科目の一部を教養教育の主題科目として他学部へ開放・提供することができる制度の導入（平成17年度）、など統合によるメリットを活かした教養教育の充実に努めている。

また、教育改革・改善を推進するための組織として「高等教育開発センター」を設置し、大学教育委員会、教養教育運営機構などとの連携・協力体制を整備し、学生による授業改善のためのアイデアコンペ、教職員及び学生が教育改善に参画するFD・SDフォーラム、教員養成改革フォーラムなどの開催やFDハンドブックの作成など教育改革事業を実施した。

(2) ネット授業の展開（現代GP）

平成16年度に現代GPに採用された「ネット授業の展開」により、教養教育運営機構とネット授業推進委員会が連携し、平成16年度より開講科目数を3科目増やし、計7科目（履修者648名）とした。また、リメディアル英語教育を実施するとともに、ブレンディッド型（対面授業＋ネット授業）の導入などの改善が図られた。

2. 研究機能の強化と新しい学問領域の創出

教育研究評議会の下に研究推進部会を設置し、新しい経営体制の下での中期的な教育研究方針に基づく柔軟な研究組織の設計や推進すべき研究の方向性、重点領域への資源配分などについて検討を行った。その結果、海洋エネルギー、シンクロトロン、低平地、海浜台地、有明海、環境、情報技術、生命・バイオ、地域医療科学、生活習慣病、地域経済、アジア社会、地域文化・歴史等13分野を重点領域として定めた。

また、医文理融合型の新しい大学院設置を目指し、教育研究評議会の下に中・長期教育研究検討部会を設置し、具体的な検討を行っている。

3. 地域・社会貢献

地域に密着した研究及び地域住民・市民のニーズに応える社会連携を図るため、地域貢献推進室を設置した。また、新技術等を産業界及び地域社会に継続的・組織的に還元するために、全国初となる内部型の佐賀大学TLOを設置することにより、本学が保有する知的財産の民間等への技術移転を推進し、得られる対価を大学の研究に活用している。

4. アジアに開かれた総合大学

国際的学術交流を組織的に推進するため「国際貢献推進室」を設置し、アジアを中心とする海外の大学との学術交流協定の締結、デュアル・ディグリー・プログラムの導入などを進めている。

また、語学教育充実のため、ネイティブスピーカーの英語教員を採用し、英語クラスを学力別編成とするなど効果的に配置し、実用的な英語能力の向上を図っている。

平成18年度 佐賀大学農学部教員組織表 (旧組織との対照表)

(学科改組前)H18年3月末日

学科	講座	職名	人数
生物生産学科	資源社会管理学	教授	3
		助教授	2
		講師	1
		助手	0
	生産生物学	教授	3
		助教授	4
		講師	0
		助手	0
	生産情報科学	教授	2
		助教授	2
		講師	0
		助手	1
生産環境工学	教授	4	
	助教授	1	
	講師	0	
	助手	1	
応用生物科学科	生物工学	教授	3
		助教授	3
		講師	0
		助手	0
	生物調節学	教授	2
		助教授	2
		講師	1
		助手	0
	動物資源学	教授	3
		助教授	1
		講師	0
		助手	1
	生物機能化学	教授	3
		助教授	2
		講師	0
		助手	1
	生物資源利用化学	教授	4
		助教授	1
講師		1	
助手		1	
附属資源循環フィールド 科学教育研究センター	教授	1	
	助教授	2	
	講師	0	
	助手	1	
計			57
(内訳) 教授			28
助教授			20
講師			3
助手			6

(学科改組後)H18年4月1日現在

学科	講座	職名	人数	
応用生物科学科	生物資源開発学	教授	5	
		助教授	5	
		講師	0	
		助手	0	
	生物資源制御学	教授	4	
		助教授	2	
		講師	0	
		助手	1	
	生物環境科学科	生物環境保全学	教授	5
			助教授	3
講師			1	
助手			2	
資源循環生産学		教授	3	
		助教授	3	
		講師	0	
		助手	0	
地域社会開発学		教授	3	
		助教授	2	
	講師	1		
	助手	0		
生命機能科学科	生命化学	教授	3	
		助教授	2	
		講師	0	
		助手	1	
	食糧科学	教授	4	
		助教授	1	
		講師	1	
附属資源循環フィールド 科学教育研究センター	教授	1		
	助教授	2		
	講師	0		
	助手	1		

計 57

(内訳) 教授 28
助教授 20
講師 3
助手 6

〔平成15年度設置〕

佐賀大学大学院医学系研究科博士課程
及び工学系研究科博士後期課程
設置に係る年次計画履行状況報告書

国立大学法人佐賀大学
平成18年5月1日現在

作成担当者

総合企画監 ニシヤマ 西山 晋

総合企画監付企画係

係長 テラシマ 寺田 龍一

電話番号 0952-28-8813

(夜間) 0952-28-8813

F A X 0952-28-8118

目 次

1. 調査対象大学院等の概要	1
2. 授業科目の概要	4
3. 施設・設備の整備状況	15
4. 既設大学院等の状況	16
5. 研究科・専攻・課程別教員組織の状況	17
6. 留意事項に対する履行状況等	23
7. 全般的事項	24

大学院等設置に係る年次計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

区 分	内 容								備 考	
(1) 設 置 者	国立大学法人佐賀大学									
(2) 大学院の名称	佐賀大学大学院									
(3) 大学本部の位置	佐賀県佐賀市本庄町1番地									
(4) 管理運営組織		認 可 時			変 更 状 況				任期満了に伴う変更⑩	
	職 名	フリガナ氏名 (現職就任年月日)			フリガナ氏名 (現職就任年月日)					
	学 長	(ハセガワ アキラ) 長谷川 照 (H15.10.1)								
	医学系 研究科長	(ムカイ ツネヒロ) 向井 常博 (H15.10.1)			(キモト マサオ) 木本 雅夫 (H17.10.1)					
	工学系 研究科長	(ニシガハ サダカツ) 西河 貞捷 (H15.10.1)			(ナカノ マサヒコ) 中島 晃 (H17.10.1)				任期満了に伴う変更⑩	
(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学状況等										
調 査 対 象 研究科等の名称 (学 位)	認 可 時 の 計 画			入 学 状 況 等						
	修業 年限	入 学 定 員	収 容 定 員	区 分	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平 均 入 学 定 員 超 過 率	
医学系研究科 (博士課程) 機能形態系専攻 博士 (医学)	4	13	52	A 入学定員	13	13	13		0.81 倍	基礎となる学部 医学部 医学科
				受験者数	4	15	13			
				合格者数	4	15	13			
				B 入学者数	4	15	13			
				入学定員 超過率 B/A	0.30	1.15	1.00			
				収容定員	52	52	52			
				在学者数	1年次 4[0]	1年次 15[1] 2年次 4[0]	1年次 14[0] 2年次 16[1] 3年次 5[0]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 [] [計]		
医学系研究科 (博士課程) 生体制御系専攻 博士 (医学)	4	14	56	A 入学定員	14	14	14		1.04 倍	基礎となる学部 医学部 医学科
				受験者数	6	23	16			
				合格者数	6	23	16			
				B 入学者数	6	23	15			
				入学定員 超過率 B/A	0.42	1.64	1.07			
				収容定員	56	56	56			
				在学者数	1年次 6[0]	1年次 23[2] 2年次	1年次 14[0] 2年次	1年次 [] 2年次		

	年	人	人		計 6[0]	6[0] 計 29[2]	22[2] 3年次 6[0] 計 42[2]	[] 3年次 4年次 [計]	
医学系研究科 (博士課程) 生態系専攻 博士 (医学)	4	3	12	A 入学定員	3	3	3		1.00 倍
				受験者数	0	7	3		
				合格者数	0	6	3		
				B 入学者数	0	6	3		
				入学定員 超過率 B/A	0.00	2.00	1.00		
				収容定員	12	12	12		
在学者数	1年次 0[0] 計 0[0]	1年次 6[0] 2年次 0[0] 計 6[0]	1年次 3[0] 2年次 6[0] 3年次 0[0] 計 9[0]	1年次 [] 2年次 [] 3年次 [] 4年次 [] 計 []					
工学系研究科 (博士後期課程) エネルギー物質科学専攻 博士 (学術,理学,工学)	3	9	27	A 入学定員	9	9	9		0.70 倍
				受験者数	6	10	4		
				合格者数	6	9	4		
				B 入学者数	6	9	4		
				入学定員 超過率 B/A	0.66	1.00	0.44		
				収容定員	27	27	27		
在学者数	1年次 10[1] 計 10[1]	1年次 17[9] 2年次 10[5] 計 27[14]	1年次 7[4] 2年次 14[8] 3年次 16[5] 計 37[17]						
工学系研究科 (博士後期課程) システム生産科学専攻 博士 (学術,理学,工学)	3	7	21	A 入学定員	7	7	7		1.33 倍
				受験者数	5	11	14		
				合格者数	5	11	14		
				B 入学者数	5	9	14		
				入学定員 超過率 B/A	0.71	1.28	2.00		
				収容定員	21	21	21		
在学者数	1年次 7[3] 計 7[3]	1年次 11[6] 2年次 7[5] 計 18[11]	1年次 19[10] 2年次 11[6] 3年次 12[8] 計 42[26]						

基礎となる
学部
医学部
医学科

基礎となる
学部
理工学部
全学科

基礎となる
学部
理工学部
全学科

					計 7 [3]	計 18 [11]	計 42 [24]		
工学系研究科 (博士後期課程) 生体機能システム制御工学専攻 博士(学術,理学,工学)	年	人	人		人	人	人		0.33 倍
	3	14	42	A 入学定員	14	14	14		
				受験者数	0	6	9		
				合格者数	0	6	9		
				B 入学者数	0	6	8		
				入学定員 超過率 B/A	0.00	0.42	0.57		
				収容定員	42	42	42		
			在学者数	1年次 1 [0]	1年次 12 [4] 2年次 1 [1]	1年次 14 [11] 2年次 12 [4] 3年次 1 [1]			
				計 1 [0]	計 13 [5]	計 27 [16]			

基礎となる
学部

独立専攻の
ためなし

2 授業科目の概要

<医学系研究科博士課程機能形態系専攻>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	31	-	33	2 [0]	31 [0]	0 [0]	33 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	生殖生理学	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
2	形質人類学	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
3	生殖病理学	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
4	声帯の構造と病態生理	8	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
5	放射線生物学概論	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
6	眼の病態機能	8	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
7	呼吸循環の病態機能	8	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
8	リハビリテーション	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

十分な授業科目を提供しているため, 支障はない

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{8}{33} = 0.24$$

<医学系研究科博士課程生体制御系専攻>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	47	—	49	2 [0]	48 [1]	0 [0]	50 [1]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	神経化学特論	2	2	選択	履修希望者がいなかったため
2	臨床神経学	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
3	細胞運動機構	4	1	選択	履修希望者がいなかったため
4	先天性代謝異常	4	1	選択	履修希望者がいなかったため
5	内分泌代謝学	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
6	消化管の病態	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
7	組織内微量金属代謝	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
8	生物物理化学研究法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
9	超微形態観察法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
10	病原微生物学	4	1	選択	履修希望者がいなかったため
11	ウイルス学特論	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
12	媒介動物学	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
13	体液・血液循環病態生理	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
14	化学療法	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
15	免疫性神経疾患	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
16	毒性学	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
17	薬物動態論	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					
4					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

十分な授業科目を提供しているため, 支障はない

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{17}{49} = 0.34$$

<医学系研究科博士課程生態系>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	19	—	21	2 [0]	23 [4]	0 [0]	25 [4]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	組織学実験法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
2	有機・無機定性定量実験法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
3	環境汚染論	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
4	人類生態学	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
5	人体計測法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
6	生化学的研究法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
7	個人識別論	8	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
8	法医中毒論	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
9	犯罪精神医学	4	2	選択	履修希望者がいなかったため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					
4					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

十分な授業科目を提供しているため, 支障はない

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{9}{21} = 0.42$$

<工学系研究科エネルギー物質科学専攻>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
—	83	—	83	0 [0]	95 [12]	0 [0]	95 [12]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	エネルギー開発工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
2	海洋流体エネルギー利用システム特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
3	沸騰熱伝達学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
4	熱エネルギー利用機器特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
5	高熱負荷熱移動工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
6	超電導エネルギー工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
7	エネルギー制御工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
8	プラズマ制御工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
9	プラズマエレクトロニクス工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
10	レーザ応用工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
11	高エネルギー物理学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
12	放射線計測学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
13	情報ディスプレイ工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
14	数値電磁工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
15	応用加速器科学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
16	ハドロン物理学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
17	素粒子実験学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
18	基本粒子実験物理学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
19	場の理論特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
20	宇宙論特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
21	量子多体論特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
22	量子干渉特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
23	数値くりこみ法特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
24	複合錯体構造学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
25	錯体基礎化学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
26	金属錯体化学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
27	金属錯体解析学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
28	高機能分析化学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
29	分子認識化学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
30	生体分子構造特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
31	物質移動学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
32	生体物質学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため

33	物質変換化学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
34	セラミックス材料設計特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
35	応用材料化学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
36	ナノテクノロジー応用特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
37	非平衡プロセス学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
38	磁性体物性特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
39	半導体物性特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
40	半導体表面科学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
41	応用薄膜工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
42	シンクロトン光物性特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
43	固体物性基礎特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
44	低温物性特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
45	超伝導体特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
46	低次元強相関係物理特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
47	高分子材料学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
48	両親媒性物質機能学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
49	機能材料工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
50	両親媒性物質学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
51	光応答両親媒性物質学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
52	無機電子材料学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
53	機能セラミックス特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
54	セラミックス材料学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
55	セラミックプロセス特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
56	分離機能化学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
57	金属疲労学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
58	材料複合工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
59	粉体プロセス特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
60	機能制御材料学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
61	複合材料構造学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
62	化学応用特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
63	複合材料界面制御工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
64	先端耐熱材料工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
65					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					
4					

(5) 授業科目を未開講、廃止としたことに係る大学の所見

十分な授業科目を提供しているため、支障はない

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{64}{83} = 0.77$$

<工学系研究科システム生産科学専攻>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
—	73	—	73	0 [0]	95 [22]	0 [0]	95 [22]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	潤滑材料基礎学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
2	生産機器開発工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
3	精密機器開発工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
4	精密生産加工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
5	機器要素設計学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
6	生産システム設計学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
7	精密機構設計学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
8	知能システム制御特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
9	宇宙システム制御工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
10	機械システム力学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
11	システム制御学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
12	信号処理特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
13	生体情報学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
14	情報処理学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
15	高度計測学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
16	適応システム特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
17	基礎地盤工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
18	環境地盤学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
19	地盤設計工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
20	土質工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
21	計算工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
22	システム解析工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
23	構造設計学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
24	コンクリート工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
25	建築・都市デザイン学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
26	景観設計学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
27	都市水系設計学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
28	交通計画学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
29	環境水理学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため

30	水資源管理学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
31	環境システム工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
32	地盤材料学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
33	環境生態学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
34	離散数学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
35	情報代数学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
36	代数幾何学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
37	多様体論基礎特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
38	部分多様体特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
39	トポロジー特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
40	リーマン幾何学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
41	大域幾何学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
42	情報幾何学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
43	大域変分法特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
44	組合せ代数学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
45	数理基礎学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
46	確率基礎学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
47	数論的幾何学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
48	確率解析学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
49	数理解析学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
50	数値関数解析特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
51	数理情報理論特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
52	偏微分方程式特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
53	統計数学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
54	複素解析学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
55	センシングシステム特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
56	知覚情報システム特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
57	多次元計測工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
58	電磁波工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
59	高周波回路特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
60	信号処理回路特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
61	アンテナ開発工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
62	人工知能システム特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
63	教育システム情報特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
64	生命情報工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
65	脳型情報処理特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
66	インテリジェント情報システム特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
67	教育工学システム特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
68	認知システム特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため

69	神経情報処理工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
70					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					
4					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

十分な授業科目を提供しているため, 支障はない

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{69}{73} = 0.94$$

<工学系研究科生体機能システム制御工学専攻>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
—	50	—	50	0 [0]	61 [11]	0 [0]	61 [11]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	システムアーキテクチャ特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
2	インターフェイス機能工学演習	1	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
3	機能マテリアル工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
4	基礎粉体工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
5	ファイン素材工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
6	生体機能複合化材料工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
7	先端システム制御工学特論	1	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
8	*生体センシング工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
9	生体機能工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
10	生体情報工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
11	加工科学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
12	熱流体システム工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
13	構造強度学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
14	神経情報学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
15	インテリジェントデバイス工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
16	自由電子レーザの基礎とその応用	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
17	マイクロ波機能工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
18	マン・マシンインタフェース特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
19	ヒューマンインタフェース工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
20	プラズマナノプロセス工学特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
21	アルゴリズム特論	2	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
22	生物分子システム情報特論	1	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
23	生体機能情報学演習	1	1. 2. 3	選択	履修希望者がいなかったため
24					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					
4					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

十分な授業科目を提供しているため, 支障はない

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{23}{50} = 0.46$$

3 施設・設備の整備状況、経費

「設置計画の概要」に記載していない情報のため省略

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計			
	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計			
	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)			
(3) 講 義 室 教 室 等	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専 任 教 員 研 究 室	調査対象学部等の名称		室 数				
	〇〇学部 〇〇学科		室				
(5) 図 書 ・ 設 備							
調査対象学部 等の名称	図書 [外国書] 冊	学術雑誌 [外国書] 種	視 聴 覚 資 料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
計	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m ²		席		冊		
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
	m ²						
(3) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度	
		千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	教員1人当りの研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円				
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要							

4 既設大学等の状況

大学の名称	佐賀大学								備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	定員超過率	学位又は称号	開設年度	
教育学研究科 (修士課程) 学校教育専攻	2	6	—	12	2.14	修士 (教育学)	16	佐賀市本庄町1番地	
教育学研究科 (修士課程) 教科教育専攻	2	33	—	66	1.46	修士 (教育学)	16	佐賀市本庄町1番地	
経済学研究科 (修士課程) 金融・経済政策専攻	2	4	—	8	2.00	修士 (経済学)	16	佐賀市本庄町1番地	
経済学研究科 (修士課程) 企業経営専攻	2	4	—	8	4.37	修士 (経済学)	16	佐賀市本庄町1番地	
医学系研究科 (修士課程) 医科学専攻	2	15	—	30	1.33	修士 (医科学)	16	佐賀市鍋島5-1-1	
医学系研究科 (修士課程) 看護学専攻	2	16	—	32	0.96	修士 (看護学)	16	佐賀市鍋島5-1-1	
工学系研究科 (博士前期課程) 機能物質化学専攻	2	18	—	36	1.19	修士 (理学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 物理科学専攻	2	16	—	32	1.15	修士 (理学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 機械システム工学専攻	2	27	—	54	1.18	修士 (工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 電気電子工学専攻	2	24	—	48	1.33	修士 (工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 知能情報システム工学専攻	2	10	—	20	1.50	修士 (理学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 数理科学専攻	2	14	—	28	0.92	修士 (理学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 都市工学専攻	2	27	—	54	1.33	修士 (工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 循環物質工学専攻	2	18	—	36	1.27	修士 (工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 生体機能システム制御工学専攻	2	32	—	64	1.03	修士 (学術、 理学、 工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
農学研究科 (修士課程) 生物生産学専攻	2	20	—	40	1.37	修士 (農学)	16	佐賀市本庄町1番地	
農学研究科 (修士課程) 応用生物科学専攻	2	30	—	60	1.10	修士 (農学)	16	佐賀市本庄町1番地	

5 研究科・専攻・課程別教員組織の状況

<医学系研究科博士課程機能形態系専攻>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認可時の計画					変更状況					備考
教授	助教授	講師	計	助手	教授	助教授	講師	計	助手	
16	12	0	28	—	16	12	0	28	—	
(19)	(13)	(0)	(32)	(—)	[0]	[0]	[0]	[0]	[—]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		H17.11.1昇任
2	教授		H18.3.31定年退職
3	助教授		H18.3.31退職
4	教授		H18.4.12辞職
5	助教授		H18.4.1新規担当
6	助教授		H18.4.1新規担当
7	助教授		H18.4.1新規担当

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<医学系研究科博士課程生体制御系専攻>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
21	24	0	45	-	21	24	0	45	-	
(20)	(18)	(0)	(38)	(-)	[0]	[0]	[0]	[0]	[-]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	教授		H17.9.30退職
2	教授		H17.10.1新規担当
3	助教授		H17.10.1新規担当
4	助教授		H17.10.1新規担当
5	助教授		H17.10.1新規担当
6	助教授		H17.10.1新規担当
7	助教授		H17.10.1新規担当
8	助教授		H18.3.31定年退職
9	助教授		H18.4.1新規担当

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<医学系研究科博士課程生態系専攻>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
10	4	0	14	-	10	4	0	14	-	
(4)	(1)	(0)	(5)	(-)	[0]	[0]	[0]	[0]	[-]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	助教授		H17.1 O.1新規担当

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

--

<工学系研究科博士後期課程エネルギー物質科学専攻>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
29	29	3	61	—	29	29	3	61	—	
(31)	(22)	(2)	(55)	(—)	[0]	[0]	[0]	[0]	[—]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専 任 教 員 氏 名	辞 任 (就 任 辞 退 を 含 む) 等 の 理 由
1	講師		H17.5.11 新規担当
2	講師		H17.5.11 新規担当
3	教授		H17.6.8 新規担当
4	助教授		H17.9.7 新規担当
5	助教授		H17.9.7 新規担当
6	教授		H17.9.30 退職
7	教授		H17.12.1 昇任
8	教授		H18.3.31 定年退職
9	助教授		H18.4.1 新規担当

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<工学系研究科博士後期課程システム生産科学専攻>

(1) 担当教員表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 専任教員数

認可時の計画					変更状況					備考
教授	助教授	講師	計	助手	教授	助教授	講師	計	助手	
44	26	1	71	-	44	26	1	71	-	
(34)	(28)	(0)	(62)	(-)	[0]	[0]	[0]	[0]	[-]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	助教授		H17.9.7新規担当
2	講師		H17.9.7新規担当
3	教授		H17.11.1昇任
4	教授		H18.3.31定年退職
5	教授		H18.3.31定年退職
6	助教授		H18.3.31退職
7	教授		H18.4.1昇任
8	教授		H18.4.1昇任

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<工学系研究科博士後期課程生体機能システム制御工学専攻>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認可時の計画					変更状況					備考
教・授	助教授	講師	計	助手	教授	助教授	講師	計	助手	
9	7	0	16	2	9	7	0	16	2	
(6)	(4)	(0)	(10)	(-)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

--

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
認 可 時 (H15年10月1日)	特になし		
年次計画履行状況 調 査 時 (年 月 日)	特になし		

7 その他全般的事項

<佐賀大学>

(1) 設置計画変更事項 等

認 可 時 の 計 画	変 更 内 容 ・ 状 況 ， 今 後 の 見 通 し な ど
特になし	特になし

(2) 自己点検・評価等に関する事項

A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

B 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成20年度 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行
・ホームページ上に公開予定

C 認証評価を受ける計画

・平成20年度に大学評価・学位授与機構の評価を受けることを役員会で決定した。

〈別紙〉

本学は、旧佐賀大学と佐賀医科大学との統合により平成15年10月に新しく発足し、統合前の佐賀大学及び佐賀医科大学が取り組んできた教育、研究、地域・社会貢献、国際貢献の諸活動（4つの使命）を継承するとともに、統合によって生まれる新たな「知の創造」を追究することを目標としている。

新生佐賀大学においては、その目標を達成するため、統合のメリットを活かしながら、学生と社会の要請に応える教育と研究を着実に展開している。

1. 教育機能の強化

(1) 教養教育の充実

教養教育においては、統合前より実施してきた全学部の教員が教養教育を担うシステムを継承し、これに加え、①健康、人間、生命科学分野などの授業科目の増設、②地域に基盤を置く大学としての特色を踏まえ、地域を学び考える「地域と文明」を新たな共通主題科目として創設（平成16年度）、③各学部（医学部を含む）が開講する専門授業科目の一部を教養教育の主題科目として他学部へ開放・提供することができる制度の導入（平成17年度）、など統合によるメリットを活かした教養教育の充実に努めている。

また、教育改革・改善を推進するための組織として「高等教育開発センター」を設置し、大学教育委員会、教養教育運営機構などとの連携・協力体制を整備し、学生による授業改善のためのアイデアコンペ、教職員及び学生が教育改善に参画するFD・SDフォーラム、教員養成改革フォーラムなどの開催やFDハンドブックの作成など教育改革事業を実施した。

(2) ネット授業の展開（現代GP）

平成16年度に現代GPに採用された「ネット授業の展開」により、教養教育運営機構とネット授業推進委員会が連携し、平成16年度より開講科目数を3科目増やし、計7科目（履修者648名）とした。また、リメディアル英語教育を実施するとともに、ブレンディッド型（対面授業＋ネット授業）の導入などの改善が図られた。

2. 研究機能の強化と新しい学問領域の創出

教育研究評議会の下に研究推進部会を設置し、新しい経営体制の下での中期的な教育研究方針に基づく柔軟な研究組織の設計や推進すべき研究の方向性、重点領域への資源配分などについて検討を行った。その結果、海洋エネルギー、シンクロトロン、低平地、海浜台地、有明海、環境、情報技術、生命・バイオ、地域医療科学、生活習慣病、地域経済、アジア社会、地域文化・歴史等13分野を重点領域として定めた。

また、医文理融合型の新しい大学院設置を目指し、教育研究評議会の下に中・長期教育研究検討部会を設置し、具体的な検討を行っている。

3. 地域・社会貢献

地域に密着した研究及び地域住民・市民のニーズに応える社会連携を図るため、地域貢献推進室を設置した。また、新技術等を産業界及び地域社会に継続的・組織的に還元するために、全国初となる内部型の佐賀大学TLOを設置することにより、本学が保有する知的財産の民間等への技術移転を推進し、得られる対価を大学の研究に活用している。

4. アジアに開かれた総合大学

国際的学術交流を組織的に推進するため「国際貢献推進室」を設置し、アジアを中心とする海外の大学との学術交流協定の締結、デュアル・ディグリー・プログラムの導入などを進めている。

また、語学教育充実のため、ネイティブスピーカーの英語教員を採用し、英語クラスを学力別編成とするなど効果的に配置し、実用的な英語能力の向上を図っている。